

報告書（案）の見直しについて

■全体

- ・報告書の概要を巻末から冒頭へ，序文は目次の後へ移動した。

■序

- ・附属病院の施設マネジメントについては，本報告書のほか，平成 26 年 3 月にとりまとめられた報告書を参照する旨の記述を新たに追加した。

■第 1 章 施設マネジメントの必要性

- ・前回の「2. 適切な施設マネジメントの必要性」の「(1) 大学自らの解決の必要性」を「1. 施設の重要性と課題」の(3)へ移動し，続く 2 への導入とした。
- ・図 1～5 について，データや解説文の記述を精査した。
- ・「2. 適切な施設マネジメントの必要性」の「(1) 施設マネジメントの課題」では，これまでの施設マネジメントの取組の進捗（劣化状況の把握，スペースの有効活用や省エネルギー対策等）についての記述を新たに追加した。また，図 7 のアンケート調査結果に関する本文の記述を精査した。

■第 2 章 基本的な考え方

- ・「1. 大学経営の一環としての施設マネジメント」で，施設は人材，資金，情報等と同様に経営資源の一つである旨の記述を新たに追加した。
- ・「2. トップマネジメントによる全学的体制の構築」に，人材活用及び普及啓発についての記述を追加した（前回の第 4 章の「1. 国立大学等の推進方策」の記述を精査し，場所を移動）。
- ・「3. PDCA サイクルにおける経営者層の役割」では，PDCA サイクルの図について，中期的な行動計画を策定するサイクルであることを説明した。また，毎年を取組についても短期間の PDCA サイクルによる検証・評価が必要である旨の記述を追加した。

■第3章 戦略的な実施手法

- ・「1. 教育研究等にもたらす効果の想定と事後の検証・評価」の表1の内容を精査した。
- ・「3. 実施方策の検討」の冒頭に、実施方策の検討に併せて施設に係る目標値を検討することについての記述を新たに追加した。また、クオリティ・スペース・コストの各視点について、施設に係る目標値を設定する項目の例を示した。
- ・「3. 実施方策の検討」の「(1) クオリティ」の図を差し替え、国立大学等の維持管理費の実績額について、私立大学のみと比較する図とした。また、実績額に差が生じている原因の分析に関する記述を本文に新たに追加した。
- ・「3. 実施方策の検討」の「(3) コスト」に、国立大学等の施設に係る支出についての記述を新たに追加した。また、図10のライフサイクルコストのイメージは、施設にはイニシャルコストに加えてランニングコストがかかることが理解できる程度に簡略化した。
- ・また、「(3) コスト」の「②維持管理費等のコスト縮減」では、修繕費に関して、長期の修繕計画策定の必要性を追加した。
- ・「3. 実施方策の検討」の前の「(4) 施設整備・修繕計画の策定」は、施設の整備・修繕事業に限らず施設マネジメントの各実施方策について中期的な行動計画の策定が必要であることから、「(4) 中期的な行動計画の策定」とした。

■第4章 国の推進方策

- ・第2章及び第3章が国立大学等の推進方策に相当することから、第4章は前回の「2. 国の推進方策」のみとし、また記述を精査した。前回の「1. 国立大学等の推進方策」は、記述を精査し、人材活用及び普及啓発について、第2章の「2. トップマネジメントによる全学的体制の構築」へ移動した。

■第5章 取組事例

- ・取組の一覧表について、本文の内容との対応を示す項目は、第3章のクオリティ・スペース・コストのみとした。第2章・第3章のその他の項目（施設マネジメントの基本的な考え方、教育研究等にもたらす効果、情報を活用した経営判断）については、各取組共通で全て対応しているものと整理した。
- ・国立大学について、名古屋大学及び京都大学の三つの取組を新たに追加した。
- ・私立大学について、保有資産の有効活用や施設の地域開放の取組を新たに追加した。
- ・海外の大学について、本文で事例を紹介している大学のキャンパスの写真を掲載した。

報告書（案）の構成の見直しについて

修正前（12/12検討会案）	修正後
第1章 施設マネジメントの必要性 1. 施設の重要性と課題 (1) 施設の重要性 (2) 施設面の課題 2. 適切な施設マネジメントの必要性 (1) 大学自らの解決の必要性 (2) 施設マネジメントの課題 (3) 適切な施設マネジメントの必要性 第2章 施設マネジメントの基本的な考え方 1. 大学経営の一環としての施設マネジメント 2. トップマネジメントによる全学的体制の構築 3. PDCAサイクルにおける経営者層の役割 第3章 戦略的な施設マネジメントの実施手法 1. 教育研究等にもたらす効果の想定と事後の検証・評価 (1) 教育研究等にもたらす効果の想定 (2) 効果の検証・評価と反映 2. 情報を活用した経営判断 3. 三つの視点を踏まえた実施方策の検討 (1) 施設の質（クオリティ） (2) 施設の量（スペース） (3) 施設にかかる費用（コスト） (4) 施設整備・修繕計画の策定 第4章 施設マネジメントの推進方策 1. 国立大学等の推進方策 (1) 人材活用 (2) 人材育成 (3) 普及啓発 2. 国（文部科学省）が行う主な推進方策 (1) 情報提供 (2) 推進のための環境づくり (3) 施設マネジメントの理解促進 第5章 戦略的な施設マネジメントの取組事例 1. 国立大学の取組 2. 私立大学の取組 3. 海外の大学の取組	第1章 施設マネジメントの必要性 1. 施設の重要性と課題 (1) 施設の重要性 (2) 施設面の課題 (3) 大学自らの解決の必要性 2. 適切な施設マネジメントの必要性 (1) 施設マネジメントの課題 (2) 経営者層自らによる施設マネジメントの必要性 第2章 基本的な考え方 1. 大学経営の一環としての施設マネジメント 2. トップマネジメントによる全学的体制の構築 3. PDCAサイクルにおける経営者層の役割 第3章 戦略的な実施手法 1. 教育研究等にもたらす効果の想定と事後の検証・評価 (1) 教育研究等にもたらす効果の想定 (2) 効果の検証・評価と反映 2. 情報を活用した経営判断 3. 三つの視点を踏まえた実施方策の検討 (1) クオリティ (2) スペース (3) コスト (4) 中期的な行動計画の策定 第4章 国の推進方策 1. 情報提供 2. 施設マネジメントの取組状況の評価 3. 施設マネジメントの理解促進 第5章 取組事例 1. 国立大学の取組 2. 私立大学の取組 3. 海外の大学の取組